

日本体力医学会定例理事会（2011年5月）議事録

日 時：2011年5月20日（金） 午後5時30分～7時30分

場 所：オフィス東京 L4会議室

議 長：吉岡利忠理事長

出席者：吉岡利忠, 今泉和彦, 碓井外幸,
大野 誠, 小野寺 昇, 勝村俊仁,
小林寛道, 下光輝一, 下村吉治,
鈴木政登, 田中喜代次, 田中宏暁,
永富良一, 西牟田 守,
浜岡隆文(各理事), 小林康孝(監事),
江橋 博(第66回大会会長・山口),
松岡敏男(第67回大会事務局長・岐阜),
種田行男(将来構想検討委員会委員)

欠席者：荒尾 孝, 加賀谷淳子, 川原 貴,
栗原 敏, 坂本静男, 佐藤祐造,
西平賀昭, 森谷敏夫,
福永哲夫(各理事), 能勢 博(監事)

はじめに吉岡理事長より、東日本大震災の影響を鑑み、被災地に住所のある学会員の次年度(2012年度)年会費の免除が提案され、協議の結果、承認された。

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。また、議事録署名人として下光、下村両理事が指名された。

2. 第68回(東京)大会について(小野寺総務委員長)

本理事会開催前に開催された第68回(東京)大会大会長選考会において、栗原理事を第68回大会大会長として推薦することが決定された旨が報告され、今後、総務委員会預かりとして、委員長が栗原理事と協議を行い、次回理事会で協議結果の報告及び大会長承認に関する審議を行うことが決定された。

3. 後援名義使用許可申請について(吉岡理事長)

本学会宛に依頼のあった後援名義使用許可：『[重力とともに生きる]～宇宙飛行士との対話を通して健康について考える～(古川宇宙飛行士との交信イベント)／独立行政法人宇宙航空研究開発機構』について協議が行われ、後援が決定された。

4. その他

・永富理事より、東日本大震災における宮城県の被災

状況等について報告が行われた。また、被災地の小・中学生が使用する『競技スポーツ用器具』が不足している旨の報告がなされ、支援が可能な場合には永富理事まで連絡を頂きたいとの依頼がなされた。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会(小野寺委員長)

- ・本学会の法人化に必要な定款(原案)の作成を進めている旨の報告がなされた。
- ・前回理事会の承認に基づき、総務委員会内に「利益相反小委員会」を立ち上げ、利益相反に関する規約の作成等を進めている旨の報告がなされた。

2) 編集委員会(鈴木委員長)

- ・「体力科学」誌の投稿について、現在までの投稿状況等について報告がなされた。
- ・オンライン投稿システム(J-STAGE)について、システムの変更(J-STAGE 2からJ-STAGE 3：平成24年6月予定)が行われる予定であるため、現在、編集委員会内で変更に伴う各種作業を行っている旨の報告がなされた。
- ・今泉理事より、欧文誌発行小委員会について、オンライン投稿システムが確立しつつあるため、2011年6月位を目処に活動を開始する予定である旨の報告がなされた。

3) 渉外委員会(勝村委員長)

I) AFSM(アジアスポーツ医学会)

- ・2011年7月にタイのバンコクで理事会が開催予定であり、勝村理事又は坂本理事が参加する予定である旨が報告された。
- ・第66回大会(山口)の国際セッションについて、7月中旬以降に全ての項目が決定する予定である旨の報告がなされた。

II) ECSS(ヨーロッパスポーツ科学会)

- ・第16回ECSS(2011年7月6日～9日：イギリス・リバプールで開催)において行われる「ECSS-日本体力医学会合同シンポジウム」のシンポジスト(3名)が決定し、本学会ホームページ上でシンポジスト氏名と演題名の公表を行った旨の報告がなされた。また、シンポジウム終了後にシンポジストから報告書を提出してもらい、「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。

- Ⅲ) ACSM(米国スポーツ医学会)
- ・第58回ACSM大会(2011年5月31日～6月4日：米国・デンバーで開催)参加助成制度について、応募者の中から若手研究者1名、大学院生2名を助成対象者として決定し、本学会ホームページ上で氏名と演題名の公表を行った旨の報告がなされた。また、シンポジウム終了後に助成対象者から報告書を提出してもらい、「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。
- 4) 学術委員会(碓井委員長)
- I) スポーツ医学研修会(鈴木委員長)
- 基礎コースを7月1日(金)・2日(土)に、応用コースを8月5日(金)・6日(土)に、修了試験を8月7日(日)に東京慈恵会医科大学新橋校で開催する予定である旨及び5月20日までの申込者数について報告がなされた。
- また、研修会で使用するテキストについて、現在、改定版の作成を進めている旨の報告がなされ、併せて、本年の研修会参加者が20名に満たず、開催が中止される場合でも、改定に伴い発生する費用(原稿料・製本料等)については学会から支出を行うことが確認された。
- Ⅱ) 称号委員会(碓井委員長)
- 「スポーツ医学研修会の応用コース最終日に実施している修了試験の過去問題集」について、現在、作成を進めている旨の報告がなされた。併せて、過去6年間に出题した全ての問題(50題/年×6年=300題)の解説を作成したため、1題につき500円の作成手数料を解説者に対して支払う予定である旨が報告され、承認された(500円×300題=15万円)。
- Ⅲ) プロジェクト研究委員会(大野委員長)
- 本年度は期間内に応募がなかったため、委員会内で検討を行った結果、応募期間の延長は行わず、「該当なし」とすることに決定した旨が報告された。
- 5) 将来構想検討委員会(種田将来構想検討委員会委員)
- 資料に基づき、委員会中間活動報告が行われた。また、下記：3点の提案がなされ、審議の結果、承認された。
- 1) 将来構想検討委員会の小委員会(ガイドライン検討小委員会、学会運営検討小委員会、学会大会運営検討小委員会、研修セミナー検討小委員会、プロジェクト研究検討小委員会)委員(将来構想検討委員会委員は除く)への委嘱状の発行について
- 2) 第66回大会(山口)での理事会主催プログラムのテーマ等の変更について
- ・テーマ：緊急特別企画「震災時における運動(身体活動)に関する支援活動」
- 3) 第66回大会(山口)の講師(非会員：2名)への旅費の支給について
- 6) 倫理委員会(吉岡理事長)
- 資料に基づき、第66回大会(山口)で開催が予定されている倫理問題をテーマとしたシンポジウムのテーマ、内容等について報告がなされた。
- ・テーマ：「健康・スポーツ科学および教育分野における人対象の調査・研究倫理(仮題)」
- また、同シンポジウムに参加が予定されている本学会会員以外のシンポジストに対して、交通費・宿泊費・講演謝金を支給することが提案され、審議の結果、承認された。
2. 第66回大会(山口)の準備状況(江橋第66回大会長)
- ・東日本大震災の影響を鑑み、演題登録の締切を1週間延長した旨の報告がなされた。
 - ・求職・求人活動を助成する為に、大学院生等の発表の際に「キャリアエクスペローラー(求職中)・マーク」の表示を行うことを計画しており、近日中に第66回大会ホームページに運用方法等の掲載を行う予定である旨が報告された。
 - ・「体力科学」誌に掲載した学会登録費用の振込先口座番号が誤っていたことが報告され、謝罪が行われた。
- 会期：2011年9月16日(金)～18日(日)
会場：海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ
3. 第67回大会(岐阜)の準備状況(松岡第67回大会事務局長)
- 大会の準備状況等について報告がなされた。
- 会期：2012年9月14日(金)、15日(土)、16日(日)
会場：長良川国際会議場及び都ホテル(岐阜)
4. その他
- ・下光理事(第28回日本医学会総会参与)より、第28回日本医学会総会は、当初4月に予定されていたが、東日本大震災によって中止となり、開催形態を変更し、特別企画(講演会形式)として2011年9月17日(土)～18日(日)に東京国際展示場で開催予定である旨の報告がなされた。また、この特別企画の期日が、日本医学会第37分科会の日本体力医学会大会の会期と重なることについては、下光理事から日本医学会総会事務局に抗議を行ったとの報告があった。

第28回財団法人明治安田厚生事業団 健康医科学研究助成応募要項

公募テーマ：

- a. 指定課題研究テーマ：運動とメンタルヘルス
- b. 一般公募研究テーマ：積極的な健康の維持増進に活用できる研究課題

※研究者1人につき、aかbのいずれか1件のみ応募可

主催：財団法人 明治安田厚生事業団

後援：日本体力医学会・明治安田生命保険相互会社

選考委員（敬称略・五十音順）

委員長：福永哲夫（鹿屋体育大学学長）

委員：井澤鉄也（同志社大学教授）

委員：定本朋子（日本女子体育大学教授）

委員：下光輝一（東京医科大学主任教授）

委員：永松俊哉（明治安田厚生事業団体力医学研究所所長）

資格と条件

健康の維持増進に関する研究を行っている40歳未満（申請時）の方で、所属する部署の所属長あるいは指導教官等の推薦を受けた方（修士課程以下の学生、前年度対象者は除く）

応募の方法

所定の申請書を使用（添付書類は一切認めない）
コピー、印刷する場合はB4サイズ両面で、提出用紙に押印、またはサインをする

締切日：平成23年10月25日必着

選考結果の発表：平成24年1月10日頃本人宛書状で通知

助成の金額：総額 1,500万円

研究成果の報告

助成決定者は研究の結果を所定の様式で論文にまとめ、平成24年11月12日必着で提出

論文は健康医科学研究助成論文集に掲載する

対象研究を他に発表する場合は明治安田厚生事業団助成による研究であることを明記する

留意事項

営利を目的とする研究や、すでに完了している研究は対象としない

申請内容（題目、共同研究者、目的、方法など）については、やむを得ない場合を除いて改変を認めない

申請書の請求・問合せ先

財団法人 明治安田厚生事業団体力医学研究所
研究助成事務局

〒192-0001 東京都八王子市戸吹町150

TEL 042-691-1163 FAX 042-691-5559

E-mail : josei@my-zaidan.or.jp

URL : <http://www.my-zaidan.or.jp/josei>

第3回姿勢制御アプローチ講演会2011

日程・会場：

2011年9月11日（日）京都会場（京都テルサ）

10月16日（日）東京会場（よみうりホール）

11月20日（日）福岡会場（福岡国際会議場）

時間：9：50～17：30

講師：入谷 誠（足と歩きの研究所代表取締役）

市川 繁之（フィジストレーナー代表取締役）

脇元 幸一（清泉クリニック整形外科

スポーツ医学センター施設長）

参加費：

早期申込み割引 12,000円／1名様（税込み）

（早期申込み割引は、2011年7月31日までのお申し込みが対象となります）

通常参加費 15,000円／1名様（税込み）

申し込み方法：

ホームページ <http://www.koko-kara.info/> をご覧ください

問い合わせ先：

講演会事務局：実施運営組織 株式会社ゼノクロス
担当：内田洋美

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里3-6-9 ラヴィーナ
道灌山2階（東京本社住所）

Tel : 099-213-0511 Fax : 099-213-0585

E-mail : receipt@koko-kara.info（鹿児島オフィス）

第25回運動と体温の研究会 ご案内

1. 日時：2011年9月15日(木) 14時～18時
2. 場所：小倉リーセントホテル
〒803-0811 北九州市小倉北区大門1-1-17
TEL 093-581-5673 FAX 093-582-1789
<http://www.kourituyasuragi.jp/hotels/44kitakyusyu/index.html>
(JR西小倉駅から徒歩3分)
3. 特別講演：検討中
4. 演題募集：
 - 1) 若手発表(大学院生, おおむね40歳未満): 表彰の対象となります
 - 2) プロジェクト研究発表
「熱中症に関する総合的研究(衣食住および運動)」
 - 3) 2～3枚スライド・1話題
5. 懇親会：18時～20時
会場 小倉リーセントホテル
6. 会費：6000円, 大学院生2000円
(研究会のみ参加：1000円, 大学院生無料)
7. 演題締切：2011年8月15日(月)
8. 抄録締切：2011年8月31日(水)
A4用紙1枚の抄録(演題名, 発表者・共同研究者名, 所属, 口演要旨)
(MSワード形式またはPDF形式)をメール添付にてお送り下さい

「運動と体温の研究会」事務局
中京大学スポーツ科学部・運動生理学研究室 松本孝朗
Tel：0565-46-6656(直通) Fax：0565-46-1272
〒470-0393 豊田市貝津町床立101
E-mail：t-mat@sass.chukyo-u.ac.jp

「第50回日本生気象学会大会」記念大会のご案内

- 会期：平成23年11月3日～5日
会場：京都女子大学
大会長：中井誠一先生(京都女子大)
中島敏博先生(京都工芸繊維大学)
詳細は学会大会のHPをご覧ください
(<http://www.cis.kit.ac.jp/~jsb50>)
大会参加および発表演題の締切は7月29日(金)です。
- 大会事務局
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1
京都工芸繊維大学大学院 基盤科学系 数理・自然部門
芳田研究室内
第50回日本生気象学会大会事務局 担当：芳田哲也
電話&FAX：075(724)7296 E-mail：jsb50@kit.ac.jp

「第28回筋肉の会」, 「第28回筋電図の会」のご案内 (第2報)

「第28回筋肉の会」, 「第28回筋電図の会」を下記の通り、下関市で開催致します。どうか奮ってご参加頂くと共に、関係各位へお知らせ頂きますようご案内申し上げます。

日 時：平成23年9月15日(木)

第66回日本体力医学会大会前日

15:00～17:00

会 場：

「筋肉の会」海峡メッセ下関, 804会議室

「筋電図の会」下関市立生涯学習プラザ, 会議室1 (311)

演 題：

「筋肉の会」

1. 後藤勝正 先生

(豊橋創造大学大学院健康科学研究科)

「ストレス応答と骨格筋の適応」

2. 宮崎充功 先生

(札幌医科大学保健医療学研究科, 日本学術振興会特別研究員PD)

「分子生物学の視点から骨格筋肥大のメカニズムを再考する」

「筋電図の会」

1. 中島剛 先生

(国立障害者リハビリテーションセンター研究所, 学術振興会特別研究員)

「受動歩行運動の脊髄神経機構とその可塑性について」

2. 小宮山伴与志 (千葉大学教育学部)

「錐体路入力をヒトの下肢運動ニューロンに伝える頸髄long propriospinal system」

参加費：1,000円 (事務連絡費, 会場費, AV機材借用費等) 研究会の当日, 受付にて申し受けます。

懇親会：研究会終了後に「筋肉の会」と「筋電図の会」の合同で行います。(懇親会のみへご参加頂ける方も大歓迎です)。場所, 時間等 (18:30からの予定, 会費6,000円程度) の詳細は学会HPに掲載します。

世話人：

「筋肉の会」

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座体力医学研究室 山内秀樹

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1

TEL: 03-3480-1151 内線2445 FAX: 03-3480-4591

e-mail: yamauchi@jikei.ac.jp

「筋電図の会」

千葉大学教育学部保健体育教室 小宮山伴与志

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL: 043-290-2621, FAX: 043-290-2519

e-mail: komiyama@faculty.chiba-u.jp

編 集 後 記

この度は体力科学第60巻4号をお送りいたします。原著論文8編と短報1編です。タイトルを概観しただけでもどれも力作揃いのように思われます。最近では健康・スポーツ科学に関する学会誌にも高齢者を対象にした論文が増えたように思われます。本号にも3編が掲載されています。高齢者と運動の関係で最初注目を集めたのが、高齢者が転倒し骨折などで長期入院した場合、身体機能ばかりではなく脳機能も低下することでした。そのために運動が何らかの役割を担うことができないかという機運が高まり、高齢者の脳機能と運動に関する研究が国内外で多く報告されるようになりました。それが現在では運動と認知機能に関する研究が運動系の生理学、体力医学の研究者ばかりではなく精神神経科学者、分子生物学者まで参入しめざましい進歩を遂げようとしています。認知症とは平たくいえば脳の正常機能が失われた状態のことであり、症状が進めば日常生活にも大きな影響が生じると言われています。認知症の最大の原因は生まれつ

き備わっているいくつかの遺伝子であると言われていますが、今までの調査研究によれば運動が認知症を予防する可能性も指摘されています。しかしどのような運動がよいのかその運動処方はまだ明らかではない現状にあると思います。有酸素運動はからだにも脳にもよいと言われていますが脳のためにどのくらいよいのかまだ結論を出せていません。今後は本体力科学にも運動と認知症予防に関する研究報告が多く投稿されることが予想されます。いつの日か我々の運動系の生理学、体力医学の分野からこの程度の運動をすればからだも健康になり、脳もたくましくなり、認知力の面での、情緒の面でもよく働くようになるという運動処方を開発したいものだと思います。最後に5000名余の会員を誇る学会ですのもう少し投稿数が増えることを願って私の編集後記とします。

西平賀昭

Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol. 60, No. 4

体 力 科 学 第 60 巻 第 4 号

平成 23 年 7 月 25 日 印 刷

平成 23 年 8 月 1 日 発 行

編 集 兼 発 行 者	鈴 木 政 登
発 行 所	〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階 一般社団法人 学会支援機構 日本体力医学会
編 集 事 務 局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局 TEL・FAX(共通) 0235-22-3120 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
印 刷 所	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社
